

「市長との座談会」 市民の皆様からの質問や意見交換などの要約

日 時 令和元年12月26日（木）午後7時から

会 場 下条コミュニティセンター大広間

藤田市長が加茂市行財政健全化推進計画（案）、企画財政課長が資料集（案）を説明し、その後、質問・意見交換を行いました。

（質問・意見） 財政を節約する色々なものが出てきたが、加茂市に住むのが嫌になる人が増えると思う。例えば農業の助成金の話。農業を頑張っているお年寄りはこのように見ると、農家をやめる方が増えると思う。

インフルエンザ予防接種の助成は今回の値上げでどれくらい患者が増えるか。患者増のシミュレーションは。お年寄りがインフルエンザになって病院を占拠されるようなら、子どもたちは非常に困ってしまう。改定案は、ただただ値上げで、メリット・デメリットが数字として出てこない。その辺のフォローは。

（市長） 値上げは他市町村同様の金額にしている、ただ、市民の皆様にとって、これまで低かったものから値上げするのは嫌、というのは分かる。負担感はあるかもしれないが、加茂市の負担していただく部分が他市町村よりも劣っているかという、決してそうではない。

農機具補助についても、他市町村にはない補助金。これまで貰っていた方からすれば、減れば嫌だというのは分かる。それでも基金が少ないということをご理解いただけたと思う。そこをもう少し積み立てたい。大雪等での除雪が全くできない状態になってしまうよりは、少しでも負担いただいて、災害発生でもすぐに対応できるようにしたい、というのが私の考え。それでも負担が増えるのが嫌、というのは分かる。そのために説明会を開いている。また、そういったご意見を頂くこともありがたい。

インフルエンザについても他市町村と同様で、これまでの接種率についての変化は今のところはない。無料だった時と値上げしたときで接種率に変化は今のところない。

（質問・意見） 値上げはある程度分かるが、例えば農家をやっている人が税金を納めていても、農家をやめてしまえば収入が減る。税収が減る。「この街に住んでよかった」と思える、モチベーションが上がる政策は。

（市長） 新年度予算に盛りこみたいと思う。農業に関して言えば、後継者不足が出てくると考えているので、若い人でも農家ができるような、その方向に補助金を使う、またはもっと集約化していく仕組みなどに税金を使いたい。要はこのまま削減した、値上げした、だけではなく、使う所には使う。他の所が全く変わらない、というわけではない。

（質問・意見） そういう所が全く見えない。せめて「こういうことができたらいいな」位でも良いから具体的な夢の持てるような話を。

（市長） 次の予算の時に入れる。私の考えだが、教育や子育て支援、移住・定住へ、市外から加茂市内

へ住む方が増えるような税金の使い方をしたいと思う。

(質問・意見) 全く、見えない。できたらもう少し具体的な話を出してほしい。できなくても良いから、どれだけ近づけられたか、希望を持てるようなものを。市民としてモチベーションが上がるような言い方で。内緒内緒、いいことがあるではなく、具体的な話をしてほしい。

例えば保育園減らすのではなく、公立の保育園をこども園にして子どもを集めて保育だけでなく子どもの交流を、コミュニティの施設として運営していくとか。

今思い出したが、ゴミの分別はどうなったのか。

(市長) 今は、ゴミの分別をいつからするか、どうするというのは決めていない、ゴミ処理施設が古いので計画を立てている所だ。来年度から本格的に立て始めるが、ゴミ処理施設をどうするかを決めないと分別方法も決まらないので、そこは検討中だ。

(質問・意見) 今の焼却炉は、今のままで大丈夫か。昨年か一昨年に大変なことになったと思うが。

(市長) ダイオキシンの値は、今は修繕して基準値以下になっている。ただ、これから計画を立てて新しい施設を造るにしても、あと10年くらいは今の処理施設を使わないといけないのは確かだ。

(質問・意見) 分別をしてゴミ処理場の負担を軽くしようというのが市長の公約だか争点だかにあったと思うが。やらないのか。

(市長) ゴミの分別については、公約にはしていない。

(質問・意見) 公約にしてないが新潟日報の報道の仕方はそれが争点だ、という書きぶりだったが。

(市長) 今の状況だと、分別したとしても今の焼却場に集められて同じように燃やされてしまう。分別するなら、分別したあとのモノをどうするかを考えてからでないと、今分別していただいても結果は一緒になってしまう。

(質問・意見) 分別と言わないのではないか。

(市長) だから、そこ(分別後の処理)を踏まえて施設をしっかりとしないと。今すぐ分別してください、と言っても結局今の焼却場で燃やすので、分別するなら、分別したものの行き先をきちっと決めていかないと、結果は同じなので、そこを検討中だ。

(質問・意見) どう考えているのか。例えばゴミに新聞紙を混ぜる家庭にお子さんがあると、小学校で新聞紙を集めて、それが古紙になるという教育もできる。一番の問題は生ゴミ。他市町村は肥料にするためにコンポストに助成することによって生ゴミを減らす。生ゴミは殆ど水だから、燃やすのに一番無駄がある。コンポストを地域ごとにやってもらう。そうやってゴミを減らすことからやって、分別や資源への転換をやっていくのが普通では。

焼却炉が良くなったらいきなり市民がゴミの分別できるようになるのか。それとも分別不要でも耐えられる焼却施設の建設を考えているのか。ゴミの分別についてどういう道筋を考えているのか。

(加茂市・田上町消防衛生保育組合事務局長) 分別と減量化はやらなければならないと考えている。

来年度早々に焼却施設とゴミの分別・減量化を合わせて考えていく。

処理施設を造るのに10年くらいかかるが、何もやらないということではなく、できる事があれば、今の焼却場を10年間稼働させないといけない。負担がかからないようにする分別方法・減量化をする必要がある。先ほど言われたコンポストの補助についても考えている。

(質問・意見) 育成会に入っていれば市の廃品回収の補助(アルミ40円/キロ、新聞紙3円/キロ)あるから、皆さんそれを活用すればゴミの減量化につながる。

美人の湯の12月に3回あったイベント、人数は。

(美人の湯所長) 12月は3回イベントをした。実施した時間帯では来館者は倍増または100人増。それで効果があったと考えている。今後もイベントを計画していく。来月以降もヨガ教室等も計画していく。

(質問・意見) 未来に希望が見えた。時代が変わって、少子化ではなく少子社会。高齢化ではなく超々高齢化。今までと全く違う時代が始まっていると思う。

よく新潟の友人に言われるが「加茂は新潟の夕張」と。ところが、夕張は財政破綻して、病院が無くなったことで皆が助け合って健康になって医療費が減っている。医療業界では「夕張ショック」と呼んでいる。逆にそこにチャンスがあると思う。

あと10年くらいで商店街は1/10になると思う。就労人口は間違いなく減る。子どもは百人規模。どう考えたって人口は増えない。かつての経済的発展はないと思っている。よく、市議会議員が立候補する時にできもしないことを選挙目当てでいうが、私はどうやって実現するのか、と思う。まずは、足腰を低くして、固定費を節約して、他市町村と同レベルまでにする。それだけでも相当変わってくると思う。そういう方向に行政の舵が切られたことは期待が持てる。完璧に1から10まで一気に成にはできないかもしれない。時代に即した方法論で。

十代・二十代は都会・地方という認識はない。地方だから、田舎でダサイ、という認識は今の若い人達にはほとんどない。むしろ心地よく住める場所、と思っている。十分チャンスがある。情報をしっかり集めて、時代に合わせた形に行政を一步一步進めていってほしい。

(副市長) 行財政健全化推進計画(案)は一見すると、夢も希望もないかもしれない。負担金や、使用料を上げる、今まで無料だったものを有料化して個人負担をもらう。それは加茂市民にとって市民サービスの低下でしかないかもしれないが、しかしそれは他市町村並みに負担していただくといこと。負担できる人からは負担してもらう仕組みを作ること。

今まで赤字になった、収支のバランスが取れなかったというのは、身の丈に合った財政運営をしてこなかった。収入に合った支出をしないで、無料化などをして、その結果赤字を、今まで積み立てた基金を取り崩してやってきた。それをやめ、収入に合った支出をしていこう、ということだ。これだけを見ていると希望は見えてこないのかもしれないが、しかし、全く裏付けのない財政計画を持った総合計画はありえない。今、目の前にそういったお金がないため、それを反映させた総合計画を作ろうとしているので、皆様ご理解いただきたい。

(質問・意見) 公債費と、下水道繰越金について。両方とも3億円で推移と書いてあるが、これは市か

ら毎年出ていくということか。

(企画財政課長) 公債費は過去の借入に対してのものだ。現在、国の制度では借金を返す際、交付税で国が負担する。その負担を差し引きしたものが3億円程度で推移する。建設事業を抑制して、さらに交付税がなるべく多く入るような起債を行ったため、市の負担が少なくて済んでいるということが分かるようにしている。

下水道については、繰り出し金という表示があるが、一般会計から下水道会計へ繰り出しということをしている、これはほとんどが下水道会計での建設事業の公債費の返済金に対する繰り出しが多いということだ。下水道事業も国から相当な割合で交付税が入ってきている。実負担額が3億程度となっている、ということを示す資料だ。

(質問・意見) 下水道の普及率は。下水道事業は拡充するのか。

(企画財政課長) 70%台。今は、街中の住宅が密集している所はほぼ終了した。今度は村部に伸ばしているところではあるが、国では人口の割合が少ない所へ下水道を敷設しては運営が成り立たないため、合併浄化槽にシフトしている。

今の区域が効率的かということも、区域の見直しを検討しながら収支効率的な運営をできるように下水道事業を行っていきたいと考えている。

(質問・意見) 新潟日報で、県の財政難から吉田病院と加茂病院の赤字が非常に多いということで身売りもありうるという報道があった。前市長は、加茂病院は絶対新しくするというで新しくなったが、新市長は今後どういう風に取り組んでいくか。

(市長) 今日(12/26)、加茂・田上の首長と議長、保坂県議で県知事の所へ要望に行ってきた。内容は、県央基幹病院の予定通りの開院と、加茂病院を県立のまま運営することと、医師確保。このまま県立加茂病院が残るように、これからも県に意見を伝えていきたい。

(質問・意見) 当時、色々な方々から署名運動までしてもらってまで作った病院。おかしな格好になるとうまくなないと市民は思っている。ぜひ存続できるようにお願いしたい。

(市長) 加茂病院は、加茂田上地域の核となる病院。地域医療の充実、しっかり加茂病院が残るよう、努力していく。

(質問・意見) 病児保育園。県が運営している施設ではない。加茂市が運営か。

(市長) 市ではなく、加茂と田上の「消防衛生保育組合」が運営している。

(質問・意見) 開園してからしばらく経つが、利用者数は。

(福祉事務所長) 昨年10月に開園してから今まで、おおむね平均0.5人/日。今年11月、12月は若干多くなり、平均1人/日。

(質問・意見) これは、市が当初想定した人数より多いのか少ないのか。

(福祉事務所長) 少ない。

(質問・意見) それだけしか需要がないのか。手続きが煩雑で使わないのか。あれだけ良いものを作って、利用しないのはもったいない。

加茂市は子供が病気をしても安心して夫婦が働ける場所だということを共働き世帯にアピールすることができる。子どもに対して優しい施設を作っておいて活用できていない。もっと活用できる方法を考えてはどうか。

(市長) もう少し周知をしていかないといけないと思っている。開園時間を早くしてほしいという要望もある。人員配置を含めて、検討する。出勤前に預かれるようにしていきたいと考えている。

(福祉事務所長) 現場の職員から、入園時の説明会に出て行って説明するなどPRしたいという意見があった。1回目は必ず受診してからで、2回目からは原則午前9時からだが、開園前の時間帯から預かるなど、弾力的に運用しているので、その点もPRしていこうと考えている。

(副市長) あの場所に作ったのは、新設する加茂病院に隣接していて、小児科医が来ることが理想という形でできている。それができていない事も低利用の要因かもしれない。

(質問・意見) 財政再建で人件費を相当削減するわけだが、市職員は苦しくなる。人口が減少してくれば、当然議員定数を減らすべきと思うが。その点の考えは。

(市長) 議員報酬については3%削減。定数については私の方から決めるのではなく、議員・議会で考えて提案があると考えている。今、提案について話し合いをしていると聞いた。

(質問・意見) 昨年、富山県内の類似団体に行った際、その市では加茂市に比べて議員定数が少ない。人口割合とか投票人数とかからすれば、当然減らすべきだと思う。

(議長) 現状は市長の発言どおりだ。任期中は3%削減。これは議員全会一致で可決された。議員定数は意見が色々ある。毎月議員で意見交換会をしている。今後の加茂市において、適切な議員数を研究していく。私の議長としての任期中に、議員定数をどのようにしていくか、その際、議会運営に支障ない体制づくりにはどうしたらいいか。

議員が減ることで市民の声が市政に届かなくなることが無いような体制づくりをどうしたらいいかを、ただ財政面「だけ」ではなく考え方、方向性を任期中にお示ししたいと思う。

(質問・意見) 旧生田屋。アンケート実施後、その結果は。

値上げで絶望しているという人がいたが、中身が分からなければそんな気持ちも分かる。どこの市町村もそうだが、値上げするという文句が出る。納得のいくやり方をしてくれれば良い。大穴が開いている所に対策をしないで他の部分を上げたり下げたりすると、不平不満が出る。美人の湯。旧生田屋の問題。温水プールなど必要なのか。みんなの納得のいくように話をしてくれれば皆さん分かってくれると思う。新町の人は旧生田屋をどう思っているのか。

議会は何十年間も傍聴しているが、市議会議員が市長に何も言えていない。何人の問題ではなく中身の問題。議員が発言している声が、マイクがあるのに聞こえない。議長は議員に発言内容に注意したが、以前の市長はもっと酷いことも言っていたが誰も注意しない。議会は有権者、市民が傍聴に行くが、これが聞こえない。それを議長が「ゆっくりはっきり話してください」くらいの注意があってもいい。殆ど発言

しない市議がいる。今回のような状況にしたのは有権者が一番悪い。しかし、市議が発言もしない。全部が全部市長に賛成、市長に反対しろというわけではない。自分の意見を素直に言うことが、市民を代表している身の使命。これは市長・副市長に文句を言っているわけではない。まともな方になっていく感じだと思う。

メリアについては理解できない。金がない中メリアを買う。それは反対。ゴミ問題、生ゴミ等地域に問題ある。コンポスト補助・運動が必要と思う。生活学校も1年やったが、全体に広めようという雰囲気ではない。

(市長) 旧生田屋について、新町の皆様との話し合いは1月に予定している。旧生田屋は新町の所有ではないが、現にある所であることと、仮に活用する際には地元の人からどう関わってくれるか、全く無くした際にはどう関わってくれるのか、という所を話し合う必要があると思っている。ただ、新町の人に言われたから言われた通りにするというわけではなく、話を聞いて、最終的に判断したいと思う。

(質問・意見) 噂では、前市長が色々苦情を入れていると聞く。それが何か影響しているのか。その関係で美人の湯など大穴が開いている所に切り込めないのか、と勘ぐるだけだが。これからできる雁木は木か。そこまでは木ではない。平等にやってくれないと双方不幸になる。

(市長) (旧生田屋についての意見聴取は) 新町の人たちから要望があったので、それから最終的に判断する。

(副市長) アーケードは、駅前からそれぞれ商店街が整備してきた。新町が行う際、良い補助がなく、また補助率が低かったため、市が事業主体となり、社会資本整備総合交付金を使ってやることになった。新町商店街との話し合いの中で、木質のものがいい、という話になった。ただ、今までは消防法の関係から木質は許されなかったが、いまは樹脂を注入した木質のものをを用いることができるので、小京都にふさわしいものを作ろう、ということになった。アーケードは商店街それぞれが知恵を出して作ったものだ。

(社会教育課長) 旧生田屋について、公開は2回行った。2回目の際のアンケートの結果は、「とり壊す」が1番。2番が「駐車場に」。この2つで半分以上を占めている。

(市長) メリアの件は、3階を市が購入の意向だが、正式に決定しているわけではない。1階にスーパーが入るために、3階部分に市が何かしら関わらないとメリアも組合の方も大変だということで、1番の目的は、早くスーパーに入ってほしいためだ。

(質問・意見) うまくいけばいいが。下田の跡地と違って駐車場がない(少ない)。金がないと言っているが、なぜこんな所を買うのか、と疑問に思う人もいると思う。

(総務課長) 議会の音が聞こえないというのは、どういったことか。

(質問・意見) かなりの人が言っている。自分の意見を言おうという人ははっきり聞こえる。

(議長) スピーカーを傍聴席の車いす席に置いている、あまりに聞こえづらい方は申し訳ありませんが移動して、それを利用していただきたい。

(市長) 私の答弁も聞こえづらいでしょうか。

(質問・意見) マイクが入れば聞こえる。

(市長) 立って答弁するとマイクがだいぶ下の方にあるので、腰を屈めて答弁しないといけない、それを忘れると聞こえづらい。私がもうちょっと大きな声を出さないといけないと思う。

(質問・意見) 市民は大穴開いている所はわかっている。そこを一番にやらないであちこち値上げしてくれと言うと、問題が噴出するのでは。

(市長) 市民の皆様が一番関心が高いところで言うと、美人の湯、市民バス、コミセン。

温水プールはなくしてほしいという声はあまり聞かなかった。美人の湯と市民バスについては市民の皆様から「もう少し変わった方が良い」というご意見が多いと思う。来年度やり方を何かしら考える。

すぐに廃止するというのではなく、美人の湯なら美人の湯で良い方法を検討して、イベントもやっていくが、それだけでは赤字は埋められない、もう少し民間に任せられないか、民間に任せるにしても探さないといけないため、その時間がかかる。ただ、来年度中には方向を示すということで考えている。市民バスも今のやり方をどうしたらいいかを検討している。このまま変わらない、というわけではない。

(質問・意見) 仕事で見附の施設に行った。そこは良いところ。温水プールの場所辺りに健康体操みたいなものができる施設があるといい。

(副市長) 大穴を埋めるのは簡単ではないので時間はかかるかもしれないが、財政健全化をやるには必要な事であり、見直しする。ただ一つ言えるのは、公共施設一つ一つ見ていくと収支でバランスの取れないものがいっぱいあるが、トータルで見ると市民のためになっている、お金で換算できない施設もある。そのあたりが、民間ではできない部分を支えていかなければいけない所でもある。

例えば収支で考えればコミセンは赤字だと思うが、ただ、市民の皆様が集まって将棋や囲碁を打つ、それだって、市民福祉になるし、また、風呂を使って、健康講座をやることで市民の皆様が健康になり、医療費が浮けば、赤字だけの施設というわけではなくなるので、単体で見ると採算が取れなくても有意義なものもあるので、取捨選択していかなければいけないと思っている。

(質問・意見) 資料集9Pのコミセン使用料の根拠の欄、分かりづらい。

(企画財政課長) 説明が足りず、申し訳ありません。入浴料については差額を記載したものだ。

(質問・意見) 東京2020オリンピック。ロシア体操チームの受け入れは個人参加だと対応変わるのか。施設の器具を入れ替えたが、オリンピック後の活用は。市のスポーツ少年団のレベルは。

(社会教育課長) 体操トレーニングセンターは、平成18年の建設時以降、器具の入れ替えをほとんどしてこなかったが、今夏前に東京2020オリンピックの指定器具に入れ替えた。ロシアのチームは来年夏もそれで練習する。国として出られなくても、個人でも受け入れる。

今回入れ替えたことにより、今後はしばらく器具の入れ替えの必要がない。加茂体操クラブは現在約110人いるので、器具は大変役に立つものと思う。子供たちの成績は県下2～3番手にいる状況だ。

(質問・意見) 指導者をちゃんとつけられるかどうか。中学生の運動能力が非常に落ちているという話も聞く。学校の教員が一番多くかかわると思うが、教育長の手腕が問われるのでは。

(教育長) 体力づくり。いわゆる部活動ではなく全体の平均で考えると加茂市は県平均レベル。それを

維持していくために、各学校の体育教師が、1学校1項目に絞って体力づくりに取り組んでいる。

(質問・意見) 財政再建が一番大事というのは、財政基盤を安定させる上で大事だということはわかった。教育面や子育て支援を具体的にどう変えたいのかを聞きたい。

(市長) まずは小・中学校の中の環境を良くしていきたい。具体的には、学校の先生だけではなく、学習のフォローをするアシスタントをする人を配置したり、不登校の子など色々なお子さんの、それぞれの個性に合わせた教育ができるように人を増やしたい。また、大人になっても学びたい方はいるので、例えば資格取得に対して補助をするなど、学ぶ環境を整えたい。

子育て支援は、妊娠・出産から子育てまで相談できる所がないので、どこに相談したらいいか分からないという意見を聞く。こども課(仮称)が来年度ではないが、1つに集約して保健師を増やすなどして対応したいと思う。

(質問・意見) 子ども目線からいうと「もっと学びたい」という子どももいる。子ども目線では現状は物足りない。

(教育長) 子どもたちにとって、授業が面白い、という風になることが基本だと思う。各学校の教師のレベル、スキルアップもしていけないと考えている。

学校教育に関しては「教師を指導する人」も必要と考えている。各学校で総合的な学習の時間の中で、地域を知って、自分の良さを知って、自分をどうしていきたいのかを考える時間を取っている。しばらく時間はかかるかもしれないが、魅力のある学校づくりを進めさせていただきたいと思う。

(質問・意見) 商店街衰退していくと思うが、商店街についての方向性は。

(市長) 若い人にもっと入ってもらうようにチャレンジショップを作ったり、空いている店舗に入りたい若い人がいるが、持ち主が「貸したくない」という現状もあるので、そういうミスマッチを解消していかなければと思っている。

加茂に人が来るようにしないといけないと思うので、そういった意味では商店街近くの加茂山公園やリス園の魅力を上げるようにしていきたいと思う。

(質問・意見) 若者を入れて、観光客向けの商店街にしていく、ということか。

(市長) できれば若い人、もちろん若い人限定ではないが、そういったお店で、頑張っていきたい人が入っていくといいと思う。ただ、どういったお店が入るかは市が決められるものではない。市としてできるのは、入ってきやすいよう、若い人が起業して商店街に入りやすいような補助金を考えたり、仕組みを作ることだと思う。

(質問・意見) 教育問題は偏差値を上げるようなボトムアップも必要だと思うが、出る杭を伸ばす、そういうものを。同時に、全体のレベル上げる施策を考えてほしい。

商店街の課題はチャレンジショップではなく、「買い物が楽しくない」こと。店員がバツと近づいてきてノルマ達成のために何でもかんでも勧めてくるようなものはうんざり。商店街でも人と人との触れ合いがあって長く続いているお店もあるが、全般的に若い人を中心に「人と関わらずに買いたい」というこ

とでインターネット販売とかが出てきた。買い物が楽しくなるような工夫を。割引券、回数券、商品券は良い。割引した分を何に使おうか、という所を楽しむ。何とかスタンプとか。抽選会とかイベントを。市がお店を出して商売してもらうのではなく、市民が買い物を楽しめるものを。

(市長) 具体策は、今はないが、そういった活性化の制度は考えていきたい。

(副市長) 私個人的には、そんなに商店街面白くないとは思わない。集客力だけを言えばショッピングセンターのほうが品揃えもあるのかもしれないが、しかし街中の商店街の個人店の良さを分かっている人は、とんがった商品を買に行き。はるばるよそから来てその店の豆腐がいいとか、ここの店のレバカツがいいとか、ここの店のアイスが食べたいとか。そういう街づくりをしないと、郊外型のショッピングモールには勝てないと思う。決して商店街は捨てたものじゃないと思う。

住んでいる人たちが自分たちの街を外に向けて「ダメだ」というのではなく、自慢していくといいと思う。行政側のPRが足りないといえば確かにそうかもしれないが、住んでいる人が外向けにアピールしないと人が寄ってこないと思う。

(質問・意見) 今までの商店街は外へ、外へ、観光客を他の市から呼び寄せるといった視点。学校で意見が出たが、地元の人に目を向けた商店街はどうか。保育園や交流施設を商店街へ入れる、といった、地元の人向けの商店街を意識して作ってもらえたら。

(市長) 商店街の中に「人の集まる施設」ができるかどうかだと思う。そこから商店街へ人が出てきてもらえるか、人の流れができるかどうか、だと思う。

※質問や意見交換のときに、一部聞き取れなかった部分もありました。ご了承ください。